

森中だより



3月号

令和5年3月20日発行

横浜市立森中学校 校長 大谷 英輔

いちがつい にがつに さんがつき 一月往ぬる、二月逃げる、三月去る

上のことばは昔からのことばで、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」ということ…。

「新年を迎えてから、あっという間に日々は過ぎ去ってしまう。正月や節分、ひな祭りなど、年中行事の多いこの時期は、特に。」という意味を、昔の人は韻（いん）を踏みながら、擬人化した表現で伝えてくれています。

ご時世で行事が制限されたり、また、昔にはなかったような行事やイベントが暮らしの中に新たに登場したりと、現代社会では様々変化はありますが、この言葉の意味する「光陰矢の如し」「Time is Money!」的な意味は、昔と変わらないな、としみじみ感じます。

令和4年度、みなさまからのご支援、誠にありがとうございました。

校長 大谷 英輔

卒業式

149名の3年生が、森中学校から卒業しました。

思い起こせば3年前の入学式は、新型コロナウイルス感染拡大のため、生徒と職員だけの式でした。そのため、生徒の不安や緊張感が強く感じられ、まるで冬空の下での式のように感じたことを覚えています。

しかし、今年度の卒業式は、各家庭保護者2名まで参加ができ、また学校運営協議会の方々を来賓としてお迎えすることもできました。厳粛な雰囲気の中でも、体育館に温かい空気が流れ、春が感じられました。

「在校生送る言葉」では、2年生代表の大野瑞葉さんから、卒業生の背中を押すような力強い言葉をいただきました。

「卒業生別れの言葉」では、生徒会長の松堂博さんから、3年間を振り返る言葉が読みました。3年間マスクをつけ、様々な制限がある中での学校生活や日常生活で、今まで積み重ねた想いを確かめるように、学年全体の歩みについて触れ、同時にこれからの生活に対する決意がそこにはありました。言葉の一つひとつに心がこもっており、言葉の後半は涙ぐみながら話す姿に、会場にいた卒業生や保護者、職員も熱いものがこみ上げ、最後には温かい拍手が送られました。

松堂さんの言葉の中に、「今日の私たちの姿は、3年前よりも成長できているのでしょうか。」という問いかけがありました。この答えは、確信をもって「YES」です。しかし、「まだまだ成長ができる！」とも付け加えたいと思います。

義務教育期間、生徒たちは答えがある問いばかりを教わり、学んできました。しかし、ここからは、時に周囲の力を借りながら正解のない答えを自らで探しながら、人生を歩んでいきます。今後も生徒たちの幸せを森中から応援しています。



改めて、卒業した 149 名の生徒の皆さん、保護者の皆様、関わってくださったすべての方々に感謝しています。

3学年 学年主任 内山 菜美

SEPRO 1年・2年

3月10・13日に磯子区のAET5名が来校し、SEPRO（Super English Program）が行われました。対面での実施は数年ぶりでしたが、緊張しながらも英語での会話のやりとりを楽しむことができました。

【1年生】

生徒たちは昨年11月から、「お気に入りのキャラクターを紹介しよう」という課題に取り組んできました。SEPROではそのまとめとして、外国人の先生たちに自分の好きなアニメや漫画などのキャラクターについて英語で紹介しました。最初は緊張していた生徒たちですが発表が終わると、「メチャ楽しい!」「伝わった」「次はもっと相手の顔を見て言いたい」「ジェスチャーをつけたい」「先生たちの質問にもっとスラスラ答えたい」「先生たちに質問したい」と言っていました。私たちが日頃の授業で強調してきた、「自分へのチャレンジが成長と自信につながる」「伝えようという気持ちを強く持ち、ベストを尽くすことが大切」ということを、生徒たちは身をもって学び、自信をつけてさらに難しい課題に挑戦するエネルギーを得ることができました。“Great job!”（「よくがんばった!」）“You prepared very well.”（「とてもよく準備していました」）など、たくさんほめてもらいました。中には、“I learned a lot about Japanese characters.”（「日本のキャラクターについてよくわかった」）という先生もいて、生徒たちのこれまでの頑張りの成果がよく現れました。

【2年生】

まずは、簡単に自己紹介をし、その後に **Something Interesting in Japan.**（日本の面白いもの）を一人ひとり紹介しました。またそれぞれのクラスのテーマ（祭り、流行、伝統的な遊び、歴史、自然）に沿ってPCでプレゼンテーションをしました。

最後に、自分たちの興味のあることを楽しんで英語で伝えようとする姿勢を誉めていただきました。また、今後の課題として、“Easy words”（「簡単なことば」）・“Big voice”（「大きな声」）・“Eye contact”（「目を見て」）で伝えよう、というアドバイスを先生たちからいただきました。

英語科 SEPRO 担当 小沼・大村



春休みを迎えるにあたって



間もなく令和4年度も終わりを迎えることとなります。この1年間、保護者の皆様には様々な教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今年度は3月24日（金）に修了式が行われ、25日（土）から4月6日（木）まで春休みとなります。春休みは、この1年間の振り返りをするとともに、新年度に向けた準備の期間となります。新たな気持ちで、4月7日（金）から新年度がスタートできることを期待します。

さて、長期休業期間は、気持ちの緩みから思いもよらない事故やトラブルに巻き込まれることがあります。主な注意点として、

- ①交通事故
- ②地域での迷惑行為
- ③危険な場所の出入り
- ④行き先不明や遅い帰宅
- ⑤金品の授受や貸し借り
- ⑥個人情報の取り扱い
- ⑦SNS等の不適切利用



などがあります。

学校において生徒への指導も行いますが、ぜひご家庭においても未然防止のはたらきかけをお願いいたします。

生徒指導専任 細谷 政幸



今月の表彰

○ 女子ソフトテニス部

横浜インドア大会 優勝

地域から期待を寄せられて
いる中学生の力！

森中学校を地域防災拠点とする、森南・久良岐丘・森が丘の地域の方々に集まっていただいて地域防災の訓練が、3月11日（土）に行われました。

まずは、森中の敷地内にある市の防災備蓄倉庫の中を見て、緊急避難時に必要とされる様々な物品やマニュアルの説明をしていただきました。

実際に、グラウンドにある上水道、下水道に関するマンホール位置の確認、実際の使用やトイレ用テントの設置、そして、トイレ排水利用のためのプールからグラウンドへの給水・送水活動、などを行いました。

土曜日にもかかわらず、保健美化委員、生徒会本部役員のみなさんに参加してもらい、地域や区役所、水道局の方々の説明に熱心に耳を傾け、そして、運搬や設置、水道開設に必要な作業に大きく貢献してくれていました。

起きてほしくはないけれど大きな災害があった場合、避難後の生活復旧では、地域の方たちと協力する中学生の存在が欠かせません。

この週の安全教育の授業では、大災害に備えて、発生時の行動を学んだほか、そのためにも自分たちのまちや地域を改めて知ろう！と、自宅の位置を確認したり、地域防災マップを見たりしながら学習しました。

3月下旬～4月の予定

月	日	曜	おもな予定
3	20	月	球技大会(1年)
	21	火	春分の日
	22	水	
	23	木	SC 来校
	24	金	学年集会・修了式・離任式 部活動再登校 15:00
	25	土	
	31	金	
4	1	土	
	~		
	5	水	入学式準備係生徒登校 9:30
	6	木	
	7	金	着任式・始業式 ※標準服着用 入学式 13:00 再登校 15:30
	8	土	
	9	日	
	10	月	離任式、⑤避難訓練、⑥教育相談 昼食開始 ※標準服着用
	11	火	①②身体計測、④新入生オリエンテーション ⑥教育相談
	12	水	⑤授業参観・学級懇談会、3年修学 旅行説明会
	13	木	⑤クラス写真撮影 ⑥部活動オリエンテーション ※標準服着用
	14	金	⑥教育相談、仮入部スタート
	15	土	
	16	日	
	17	月	⑥全校集会、専門委員会 15:05
	18	火	3年全国学力学習状況調査 ⑥教育相談
	19	水	⑥教育相談
	20	木	内科検診(1年・個別級) 文化委員会・体育委員会 15:30
	21	金	教育課程説明会 15:00 部活動説明会 15:30 1年・2年校外行事説明会 16:00
	22	土	
23	日		
24	月		
25	火	総務委員会 15:05	
26	水	部活動本入部開始	
27	木	横浜市学力学習状況調査	
28	金	専門委員会 14:15	
29	土		
30	日		

